

Practitioner's Docket No.: 008312-0307976
Client Reference No.: T4HW-03S0869-1

PATENT

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of:

Confirmation No: UNKNOWN

HIDEHITO IZAWA

Application No.: UNKNOWN

Group No.: UNKNOWN

Filed: January 29, 2004

Examiner: UNKNOWN

For: RECORDING AND REPRODUCING APPARATUS, RECORDING AND
REPRODUCING METHOD, AND AV SYSTEM

Commissioner for Patents
Mail Stop Patent Application
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

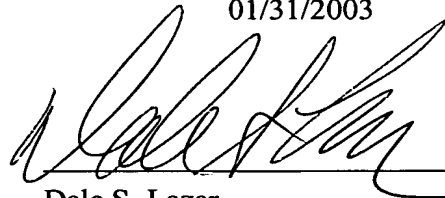
SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

Attached please find the certified copy of the foreign application from which priority is
claimed for this case:

<u>Country</u>	<u>Application Number</u>	<u>Filing Date</u>
Japan	2003-0024859	01/31/2003

Date: January 29, 2004

PILLSBURY WINTHROP LLP
P.O. Box 10500
McLean, VA 22102
Telephone: (703) 905-2000
Facsimile: (703) 905-2500
Customer Number: 00909



Dale S. Lazar
Registration No. 28872

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2003年 1月31日

出 願 番 号

Application Number:

特願2003-024859

[ST.10/C]:

[JP2003-024859]

出 願 人

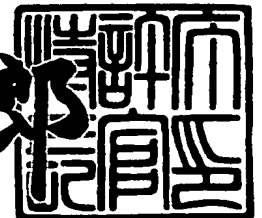
Applicant(s):

株式会社東芝

2003年 6月16日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田 信一郎



出証番号 出証特2003-3046866

・【書類名】 特許願

【整理番号】 A000300003

【提出日】 平成15年 1月31日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G11B 20/00

【発明の名称】 再生装置及び再生方法、記録装置及び記録方法、A V システム

【請求項の数】 15

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都青梅市末広町 2 丁目 9 番地 株式会社東芝青梅事業所内

 【氏名】 井澤 秀人

【特許出願人】

 【識別番号】 000003078

 【氏名又は名称】 株式会社 東芝

【代理人】

 【識別番号】 100058479

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 鈴江 武彦

 【電話番号】 03-3502-3181

【選任した代理人】

 【識別番号】 100091351

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 河野 哲

【選任した代理人】

 【識別番号】 100088683

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 中村 誠

・【選任した代理人】

【識別番号】 100108855

【弁理士】

【氏名又は名称】 蔵田 昌俊

【選任した代理人】

【識別番号】 100084618

【弁理士】

【氏名又は名称】 村松 貞男

【選任した代理人】

【識別番号】 100092196

【弁理士】

【氏名又は名称】 橋本 良郎

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011567

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 再生装置及び再生方法、記録装置及び記録方法、A V システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 外部の A V 機器を制御可能に接続する接続手段と、
この接続手段を介して外部の A V 機器が有する記録メディアを選択する選択手段と、

この選択手段で選択した記録メディアから前記接続手段を介して A V 情報を取得し表示する制御手段とを具備してなることを特徴とする再生装置。

【請求項 2】 外部の A V 機器を制御可能に接続する接続手段と、
この接続手段を介して外部の A V 機器が有する記録メディアを選択する選択手段と、

この選択手段で選択した記録メディアに前記接続手段を介して自己の再生した A V 情報を記録させる制御手段とを具備してなることを特徴とする再生装置。

【請求項 3】 前記選択手段は、
前記接続手段を介して外部の A V 機器が有する記録メディアに関する情報を取得する取得手段と、

この取得手段で取得された情報に基づいて、外部の A V 機器が有する記録メディアを選択するためのメニューを表示するメニュー表示手段とを具備してなることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の再生装置。

【請求項 4】 外部接続された A V 機器が有する記録メディアを選択する工程と、

選択した記録メディアから A V 情報を取得して表示する工程とを有することを特徴とする再生方法。

【請求項 5】 外部接続された A V 機器が有する記録メディアを選択する工程と、

選択した記録メディアに自己の再生した A V 情報を記録させる工程とを有することを特徴とする再生方法。

【請求項 6】 外部の A V 機器を制御可能に接続する接続手段と、

この接続手段を介して外部のＡＶ機器が有する記録メディアを選択する選択手段と、

この選択手段で選択した記録メディアから前記接続手段を介してＡＶ情報を取得し、自己の記録メディアに記録する制御手段とを具備してなることを特徴とする記録装置。

【請求項 7】 外部のＡＶ機器を制御可能に接続する接続手段と、

この接続手段を介して外部のＡＶ機器が有する記録メディアを選択する選択手段と、

この選択手段で選択した記録メディアに前記接続手段を介して自己の記録メディアに記録されているＡＶ情報を記録させる制御手段とを具備してなることを特徴とする記録装置。

【請求項 8】 前記選択手段は、

前記接続手段を介して外部のＡＶ機器が有する記録メディアに関する情報を取得する取得手段と、

この取得手段で取得された情報に基づいて、外部のＡＶ機器が有する記録メディアを選択するためのメニューを表示するメニュー表示手段とを具備してなることを特徴とする請求項 6 または 7 記載の記録装置。

【請求項 9】 外部接続されたＡＶ機器が有する記録メディアを選択する工程と、

選択した記録メディアからＡＶ情報を取得して自己の記録メディアに記録する工程とを有することを特徴とする記録方法。

【請求項 10】 外部接続されたＡＶ機器が有する記録メディアを選択する工程と、

選択した記録メディアに自己の記録メディアに記録されているＡＶ情報を記録させる工程とを有することを特徴とする記録方法。

【請求項 11】 再生機能を有する第 1 のＡＶ機器と記録機能を有する第 2 のＡＶ機器とを相互に制御可能に接続する接続手段と、

この接続手段を介して前記第 1 のＡＶ機器から前記第 2 のＡＶ機器の有する記録メディアを選択させる選択手段と、

この選択手段で選択した記録メディアからＡＶ情報を読み出し前記接続手段を介して前記第１のＡＶ機器に転送して表示させる制御手段とを具備してなることを特徴とするＡＶシステム。

【請求項１２】 再生機能を有する第１のＡＶ機器と記録機能を有する第２のＡＶ機器とを相互に制御可能に接続する接続手段と、

この接続手段を介して前記第１のＡＶ機器から前記第２のＡＶ機器の有する記録メディアを選択させる選択手段と、

この選択手段で選択した記録メディアに前記接続手段を介して前記第１のＡＶ機器で再生したＡＶ情報を転送して記録させる制御手段とを具備してなることを特徴とするＡＶシステム。

【請求項１３】 再生機能を有する第１のＡＶ機器と記録機能を有する第２のＡＶ機器とを相互に制御可能に接続する接続手段と、

この接続手段を介して前記第２のＡＶ機器から前記第１のＡＶ機器の有する記録メディアを選択させる選択手段と、

この選択手段で選択した記録メディアからＡＶ情報を読み出し前記接続手段を介して前記第２のＡＶ機器に転送して記録させる制御手段とを具備してなることを特徴とするＡＶシステム。

【請求項１４】 再生機能を有する第１のＡＶ機器と記録機能を有する第２のＡＶ機器とを相互に制御可能に接続する接続手段と、

この接続手段を介して前記第１のＡＶ機器から前記第２のＡＶ機器の有する記録メディアを選択させる選択手段と、

この選択手段で選択した記録メディアからＡＶ情報を読み出し前記接続手段を介して前記第１のＡＶ機器に転送して表示させるとともに、前記選択手段で選択した記録メディアに前記第２のＡＶ機器によりＡＶ情報の記録を行なわせる制御手段とを具備してなることを特徴とするＡＶシステム。

【請求項１５】 前記制御手段は、前記選択手段で選択した記録メディアに前記第２のＡＶ機器により記録されているＡＶ情報を読み出し、前記接続手段を介して前記第１のＡＶ機器に転送して表示させることを特徴とする請求項１４記載のＡＶシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、再生装置及び再生方法、記録装置及び記録方法、A V (Audio Visual) システムに係り、特にその再生機能を有するA V機器と記録機能を有するA V機器とを接続して多機能化を図るようにしたものに関する。

【0002】

【従来技術】

周知のように、ユーザの自宅等に設置された記録再生機能を有する据置型のA V機器で記録したA V情報を、再生機能を有する携帯型のA V機器で再生するためには、例えばメモリカード等のような携帯型記録媒体（以下、リムーバブルメディアという）を使用する必要がある。

【0003】

すなわち、据置型のA V機器にリムーバブルメディアを装着してA V情報を記録し、その後、据置型のA V機器からリムーバブルメディアを取り出して携帯型のA V機器に装着してA V情報の再生を行なう必要があり、ユーザにとって取り扱いが煩雑になるという問題が生じている。

【0004】

特許文献1には、一方の装置で再生中のコンテンツを、記録媒体の入れ替え無しに他方の装置で再生可能とする構成が開示されている。しかしながら、この特許文献1では、予め一方の装置で再生したコンテンツを他方の装置に転送しコピーしておく必要があり、ユーザにとっての取り扱いが煩雑になっている。

【0005】

また、特許文献2には、記憶媒体から読み出したデータを他の記憶媒体に記憶させる際に、データ再生時間と記憶先の記憶媒体の残り記憶可能時間とから記録の可否を判断し表示する構成が開示されている。しかしながら、この特許文献2には、一方の装置で記録した情報を他方の装置で再生することについては、何らの記載もなされていないものである。

【0006】

【特許文献1】

特開2001-357618号公報

【0007】

【特許文献2】

特開2000-105969号公報

【0008】

【発明が解決しようとする課題】

そこで、この発明は上記事情を考慮してなされたもので、再生機能を有するA V機器と記録機能を有するA V機器とを接続することにより、単体では実現することができない種々の機能の実現を図り得る再生装置及び再生方法、記録装置及び記録方法、A Vシステムを提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】

この発明に係る再生装置は、外部のA V機器を制御可能に接続する接続手段と、この接続手段を介して外部のA V機器が有する記録メディアを選択する選択手段と、この選択手段で選択した記録メディアから接続手段を介してA V情報を取得し表示する制御手段とを備えるようにしたものである。

【0010】

また、この発明に係る再生方法は、外部接続されたA V機器が有する記録メディアを選択する工程と、選択した記録メディアからA V情報を取得して表示する工程とを有するようにしたものである。

【0011】

さらに、この発明に係る記録装置は、外部のA V機器を制御可能に接続する接続手段と、この接続手段を介して外部のA V機器が有する記録メディアを選択する選択手段と、この選択手段で選択した記録メディアから接続手段を介してA V情報を取得し、自己の記録メディアに記録する制御手段とを備えるようにしたものである。

【0012】

また、この発明に係る記録方法は、外部接続されたA V機器が有する記録メデ

ィアを選択する工程と、選択した記録メディアからA V情報を取得して自己の記録メディアに記録する工程とを有するようにしたものである。

【 0 0 1 3 】

さらに、この発明に係るA Vシステムは、再生機能を有する第1のA V機器と記録機能を有する第2のA V機器とを相互に制御可能に接続する接続手段と、この接続手段を介して第1のA V機器から第2のA V機器の有する記録メディアを選択させる選択手段と、この選択手段で選択した記録メディアからA V情報を読み出し接続手段を介して第1のA V機器に転送して表示させる制御手段とを備えるようにしたものである。

【 0 0 1 4 】

上記のような構成及び方法によれば、再生機能を有するA V機器と記録機能を有するA V機器とを相互に制御可能に接続し、一方のA V機器から他方のA V機器の有する記録メディアを選択して記録や再生を行なうことができるようにしたので、単体では実現することができない種々の機能の実現を図ることが可能となる。

【 0 0 1 5 】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の実施の形態について、図面を参照して詳細に説明する。図1は、この実施の形態で説明するA Vシステムの外観を示している。すなわち、このA Vシステムは、携帯型A V機器11と、据置型A V機器12とから構成されている。

【 0 0 1 6 】

携帯型A V機器11は、薄型の箱状に形成された筐体13を有している。そして、この筐体13の一平面には、表示部14が設置されている。また、この筐体13の一側面には、操作部15と、リムーバブルメディアが装置される装着部16とが設置されている。さらに、この筐体13の低面には、コネクタ17が設置されている。

【 0 0 1 7 】

一方、据置型A V機器12は、箱状に形成された筐体18を有している。そし

て、この筐体 1 8 の前面パネル 1 9 には、電源スイッチ等を含む操作部 2 0 と、表示部 2 1 と、リムーバブルメディアが装置される装着部 2 2 とが設置されている。

【 0 0 1 8 】

また、この筐体 1 8 の天板には、携帯型 A V 機器 1 1 の筐体 1 3 の底面部分を着脱可能となす取付部 2 3 が形成されている。さらに、この取付部 2 3 の底面中央部には、携帯型 A V 機器 1 1 のコネクタ 1 7 と接続可能なコネクタ 2 4 が設置されている。

【 0 0 1 9 】

そして、携帯型 A V 機器 1 1 の筐体 1 3 の底面部を、据置用 A V 機器 1 2 の筐体 1 8 の取付部 2 3 に嵌合させることにより、両 A V 機器 1 1, 1 2 が機械的に結合される。また、このとき、コネクタ 1 7, 2 4 同士も接続され、両 A V 機器 1 1, 1 2 が電氣的に接続される。

【 0 0 2 0 】

図 2 は、上記携帯型 A V 機器 1 1 及び据置用 A V 機器 1 2 における信号処理系の詳細を示している。まず、携帯型 A V 機器 1 1 は、前述した表示部 1 4、操作部 1 5 及び装着部 1 6 の他に、チューナ部 2 5、内蔵メモリ 2 6、記録再生部 2 8、入出力部 2 9 及び C P U (Central Processing Unit) 3 0 を備えている。

【 0 0 2 1 】

このうち、チューナ部 2 5 は、衛星テレビジョン放送や地上波テレビジョン放送から所望のチャンネルの信号を選局し、復調処理を施して表示部 1 4 に映像表示させる機能を有する。また、内蔵メモリ 2 6 は、例えば半導体メモリ等で形成される。

【 0 0 2 2 】

記録再生部 2 8 は、装着部 1 6 に装着されたリムーバブルメディア 2 7 及び内蔵メモリ 2 6 に対して、A V 情報を記録再生する機能を有する。また、入出力部 2 9 は、コネクタ 1 7 を介して、外部と A V 情報やコントロール情報等を入出力する機能を有する。さらに、C P U 3 0 は、操作部 1 5 から得られた操作情報を反映するように、各部を統括的に制御している。

【 0 0 2 3 】

一方、据置用 A V 機器 1 2 は、前述した操作部 2 0、表示部 2 1 及び装着部 2 2 の他に、チューナ部 3 1、内蔵メモリ 3 2、記録再生部 3 3、タイマ 3 4、入出力部 3 5 及び C P U 3 6 を備えている。

【 0 0 2 4 】

このうち、チューナ部 3 1 は、衛星テレビジョン放送や地上波テレビジョン放送から所望のチャンネルの信号を選局し、復調処理を施して外部に出力する機能を有する。また、内蔵メモリ 3 2 は、例えば H D D (Hard Disk Drive) 等で形成される。タイマ 3 4 は、テレビジョン放送の視聴予約や記録予約のために利用される。

【 0 0 2 5 】

記録再生部 3 3 は、装着部 2 2 に装着されたリムーバブルメディア 3 7 及び内蔵メモリ 3 2 に対して、A V 情報を記録再生する機能を有する。また、入出力部 3 5 は、コネクタ 2 4 を介して、外部と A V 情報やコントロール情報等を入出力する機能を有する。さらに、C P U 3 6 は、操作部 2 0 から得られた操作情報を反映するように、各部を統括的に制御している。

【 0 0 2 6 】

なお、上記入出力部 2 9、3 5 は、U S B (Universal Serial Bus) による MassStorage クラスの接続仕様となっている。要するに、携帯型 A V 機器 1 1 の C P U 3 0 及び据置用 A V 機器 1 2 の C P U 3 6 が、お互いのリムーバブルメディア 3 7、2 7 及び内蔵メモリ 3 2、2 6 を共有することができる接続形態であればよいものである。

【 0 0 2 7 】

図 3 は、上記した A V システムの動作の一例をまとめたフローチャートを示している。まず、開始 (ステップ S 1 1) された後、携帯型 A V 機器 1 1 の C P U 3 0 は、ステップ S 1 2 で、再生のためのメディア選択メニューの表示が要求されると、ステップ S 1 3 で、据置型 A V 機器 1 2 が接続されているか否かを判別する。

【 0 0 2 8 】

そして、据置型AV機器12が接続されていないと判断された場合（NO）、携帯型AV機器11のCPU30は、ステップS16で、メディア選択メニューを表示部14に表示させる。このメディア選択メニューは、図4（a）に示すように、携帯型AV機器11の有する記録メディアの一覧、つまり、リムーバブルメディア27と内蔵メモリ26とを表示し、それらのいずれかを選択させるものである。

【0029】

すなわち、このメディア選択メニューにおいては、表示された「リムーバブルメディア27」と「内蔵メモリ26」とを棒状のカーソルKで選択可能となっている。このため、ユーザは、操作部15を操作してカーソルKを移動させることにより、「リムーバブルメディア27」と「内蔵メモリ26」とのいずれかを選択し決定することができる。

【0030】

その後、携帯型AV機器11のCPU30は、ステップS17で、選択されたメディアからAV情報を読み出し、ステップS18で、表示部14に映像表示させ、処理を終了（ステップS19）する。

【0031】

また、上記ステップS13で据置型AV機器12が接続されていると判断された場合（YES）、携帯型AV機器11のCPU30は、ステップS14で、据置型AV機器12の有するメディア情報、つまり、据置型AV機器12がどのような記録メディアを備えているか（この場合、リムーバブルメディア37と内蔵メモリ32）に関する情報を取得する。

【0032】

そして、携帯型AV機器11のCPU30は、ステップS15で、取得した据置型AV機器12の有するメディア情報を、自己の有するメディア情報（リムーバブルメディア27と内蔵メモリ26）に追加し、ステップS16で、メディア選択メニューを表示部14に表示させる。

【0033】

この場合、メディア選択メニューは、図4（b）に示すように、携帯型AV機

器 1 1 及び据置型 A V 機器 1 2 の有する全てのリムーバブルメディア 2 7, 3 7 及び内蔵メモリ 2 6, 3 2 の一覧を表示し、それらのいずれかをカーソル K によって選択し決定させるものとなる。

【 0 0 3 4 】

その後、携帯型 A V 機器 1 1 の C P U 3 0 は、ステップ S 1 7 で、選択されたメディアから A V 情報を読み出し、ステップ S 1 8 で、表示部 1 4 に映像表示させ、処理を終了（ステップ S 1 9）する。

【 0 0 3 5 】

上記した実施の形態によれば、携帯型 A V 機器 1 1 側の操作により、据置型 A V 機器 1 2 のリムーバブルメディア 3 7 及び内蔵メモリ 3 2 を選択し、そこに記録された A V 情報を読み出して直接表示部 1 4 に表示させるようにしている。

【 0 0 3 6 】

このため、従来のように、リムーバブルメディアを介して据置型 A V 機器 1 2 から携帯型 A V 機器 1 1 に A V 情報を移動させる必要がなく、ユーザにとって取り扱いが便利なものとなる。

【 0 0 3 7 】

また、据置型 A V 機器 1 2 から取得した A V 情報を、携帯型 A V 機器 1 1 でリムーバブルメディア 2 7 または内蔵メモリ 2 6 に記録しないので、リムーバブルメディア 2 7 または内蔵メモリ 2 6 の記録容量に無関係に、据置型 A V 機器 1 2 から A V 情報を取得することができる。

【 0 0 3 8 】

なお、据置型 A V 機器 1 2 から取得した A V 情報を、携帯型 A V 機器 1 1 でリムーバブルメディア 2 7 または内蔵メモリ 2 6 に記録するように制御することも可能である。

【 0 0 3 9 】

また、携帯型 A V 機器 1 1 が、そのチューナ部 2 5、リムーバブルメディア 2 7 及び内蔵メモリ 2 6 のいずれかから取得される A V 情報を、据置型 A V 機器 1 2 のリムーバブルメディア 3 7 または内蔵メモリ 3 2 を選択して記録させることも可能である。

【 0 0 4 0 】

上記と逆に、据置型 A V 機器 1 2 が、携帯型 A V 機器 1 1 のチューナ部 2 5、リムーバブルメディア 2 7 及び内蔵メモリ 2 6 のいずれかを選択し、そこから取得される A V 情報を、自己のリムーバブルメディア 3 7 または内蔵メモリ 3 2 に記録させることも可能である。

【 0 0 4 1 】

この場合、据置型 A V 機器 1 2 は、携帯型 A V 機器 1 1 から取得した A V 情報を、自己のリムーバブルメディア 3 7 または内蔵メモリ 3 2 に記録させずに、外部接続されたモニタ等に直接供給して表示させるようにすることもできる。

【 0 0 4 2 】

また、据置型 A V 機器 1 2 が、そのチューナ部 3 1、リムーバブルメディア 3 7 及び内蔵メモリ 3 2 のいずれかから取得した A V 情報を、携帯型 A V 機器 1 1 の表示部 1 4 に表示させたり、そのリムーバブルメディア 2 7 または内蔵メモリ 2 6 を選択して記録させたりすることも可能である。

【 0 0 4 3 】

さらに、据置型 A V 機器 1 2 が、例えばそのチューナ部 3 1 で取得した A V 情報を内蔵メモリ 3 2 に記録している状態で、携帯型 A V 機器 1 1 が、据置型 A V 機器 1 2 の内蔵メモリ 3 2 を選択し、そこに記録されている他の A V 情報を読み出させて、表示部 1 4 に表示させることもできる。この場合、内蔵メモリ 3 2 に記録している A V 情報を読み出して再生する、いわゆる追っかけ再生も行なうことができる。

【 0 0 4 4 】

また、携帯型 A V 機器 1 1 が、据置型 A V 機器 1 2 の内蔵メモリ 3 2 から読み出した A V 情報を表示部 1 4 に表示させている状態で、据置型 A V 機器 1 2 は、内蔵メモリ 3 2 に記録された他の A V 情報に対して編集作業を行なうことも可能である。

【 0 0 4 5 】

さらに、携帯型 A V 機器 1 1 が、据置型 A V 機器 1 2 の内蔵メモリ 3 2 から読み出した A V 情報を表示部 1 4 に表示させている状態で、据置型 A V 機器 1 2 で

は、内蔵メモリ32に記録された他のAV情報を読み出し、外部接続されたモニタ等に供給して表示させるようにすることもできる。

【0046】

ここで、上記した実施の形態では、携帯型AV機器11と据置型AV機器12とを直接結合させるようにしたが、例えば、図5に示すように、ケーブル38を介したネットワークによる接続を行なうことができる。また、無線によって接続することも可能である。

【0047】

なお、この発明は上記した実施の形態に限定されるものではなく、この外その要旨を逸脱しない範囲で種々変形して実施することができる。

【0048】

【発明の効果】

以上詳述したようにこの発明によれば、再生機能を有するAV機器と記録機能を有するAV機器とを接続することにより、単体では実現することができない種々の機能の実現を図り得る再生装置及び再生方法、記録装置及び記録方法、AVシステムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施の形態を示すもので、AVシステムの外観を説明するために示す斜視図。

【図2】 同実施の形態における携帯型AV機器及び据置用AV機器の信号処理系の詳細を説明するために示すブロック構成図。

【図3】 同実施の形態におけるAVシステムの動作の一例を説明するために示すフローチャート。

【図4】 同実施の形態におけるメディア選択メニューの表示例を説明するために示す図。

【図5】 同実施の形態における携帯型AV機器と据置用AV機器との接続の変形例を説明するために示す斜視図。

【符号の説明】

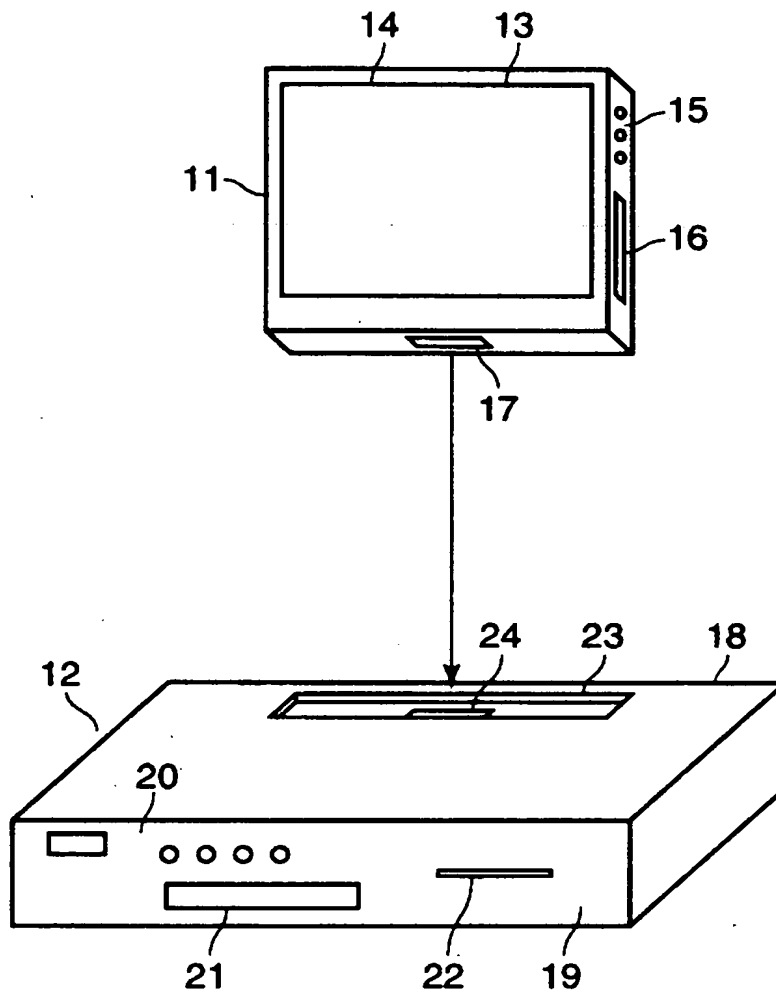
11…携帯型AV機器、12…据置用AV機器、13…筐体、14…表示部、

・ 1 5 … 操作部、 1 6 … 装着部、 1 7 … コネクタ、 1 8 … 筐体、 1 9 … 前面パネル
、 2 0 … 操作部、 2 1 … 表示部、 2 2 … 装着部、 2 3 … 取付部、 2 4 … コネクタ
、 2 5 … チューナ部、 2 6 … 内蔵メモリ、 2 7 … リムーバブルメディア、 2 8 …
記録再生部、 2 9 … 入出力部、 3 0 … C P U、 3 1 … チューナ部、 3 2 … 内蔵メ
モリ、 3 3 … 記録再生部、 3 4 … タイマ、 3 5 … 入出力部、 3 6 … C P U、 3 7
… リムーバブルメディア、 3 8 … ケーブル。

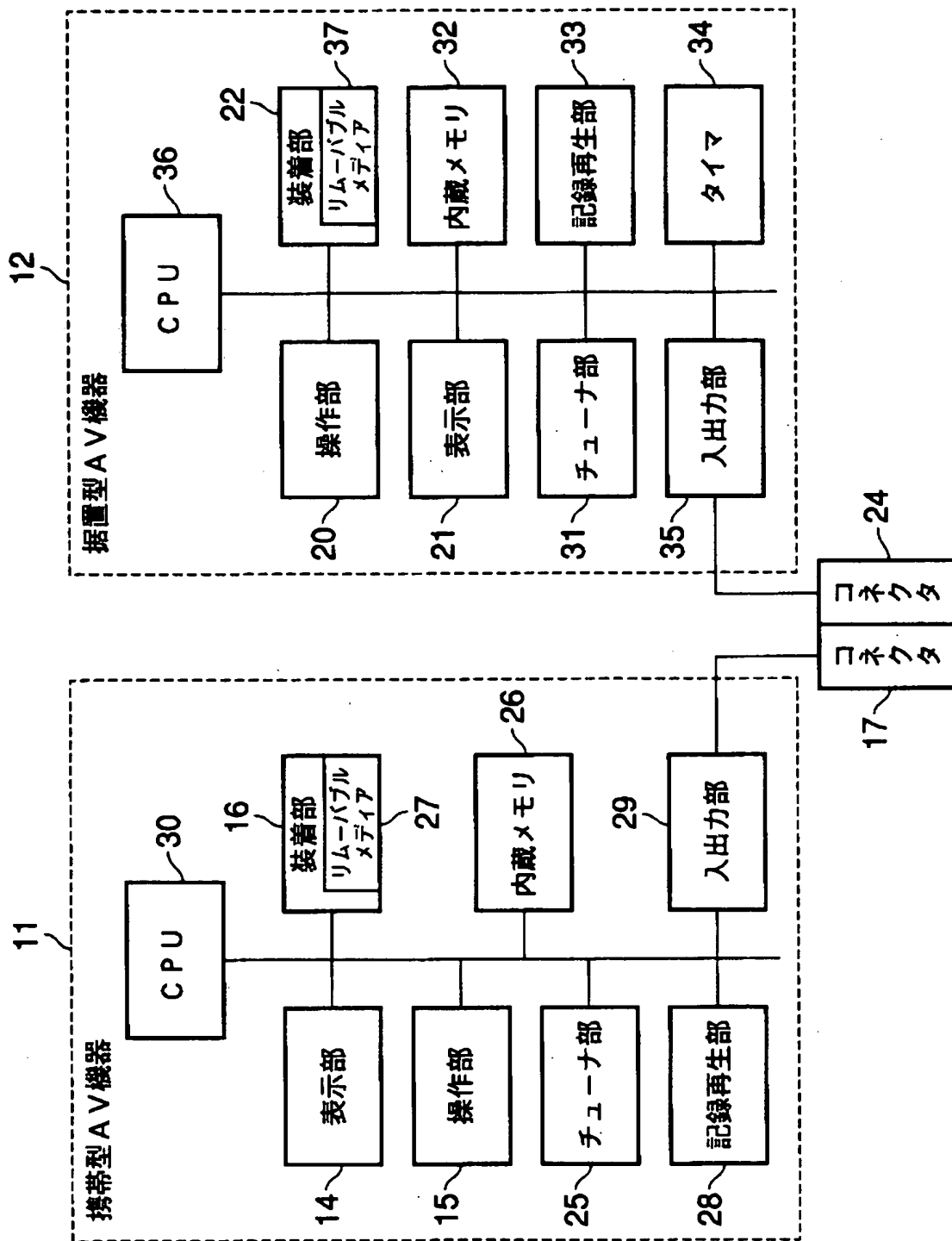
【書類名】

図面

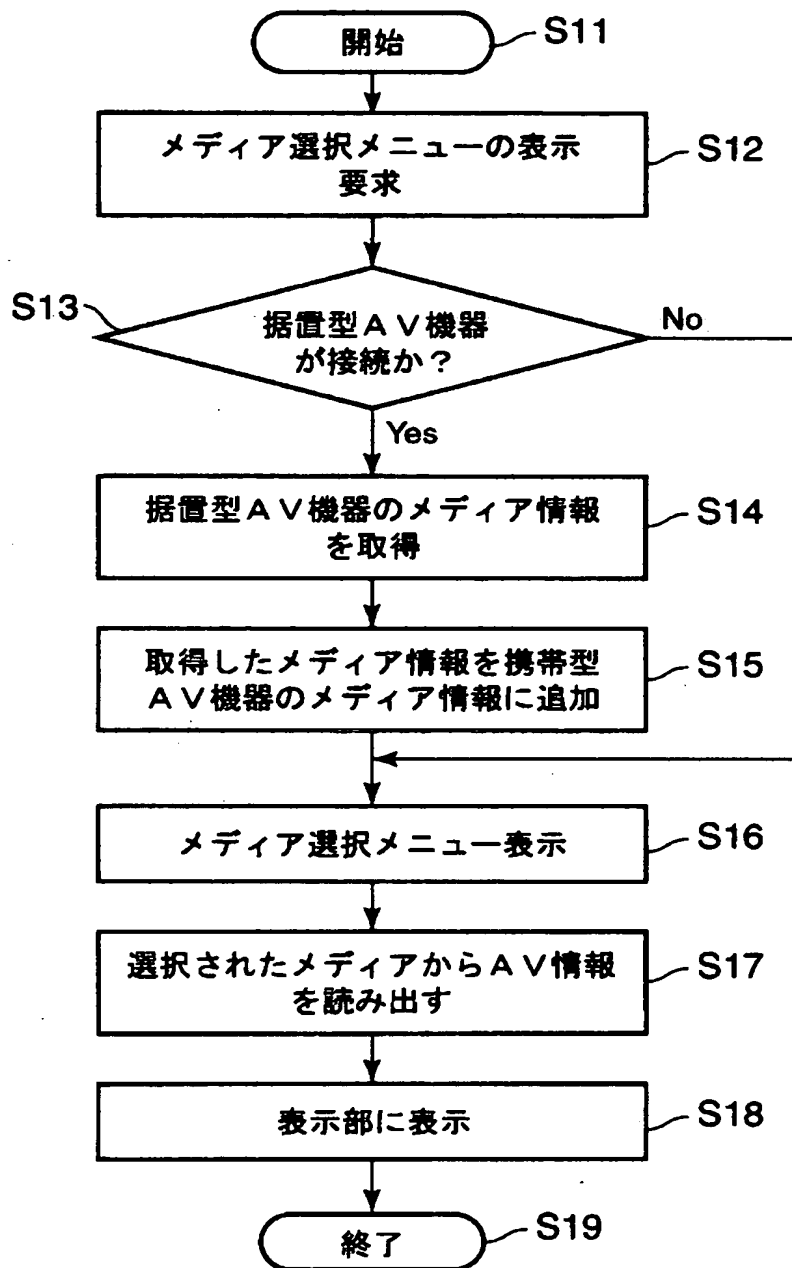
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

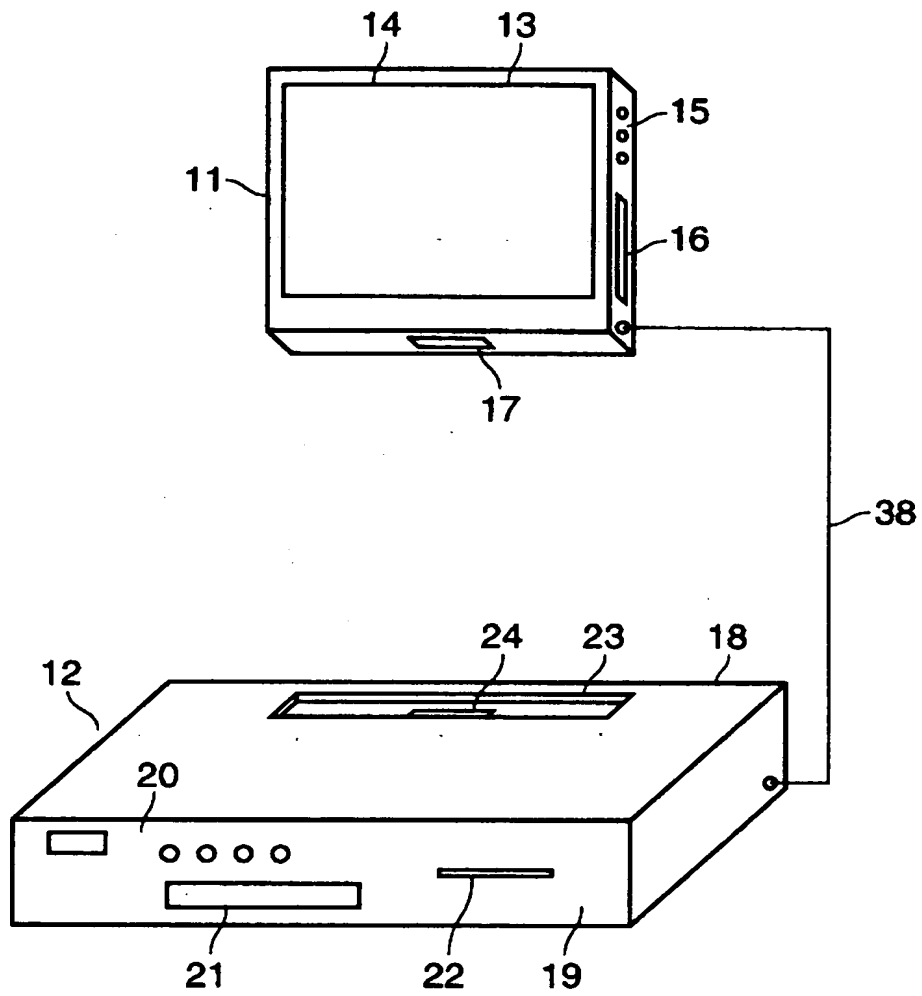
(a)

メディア選択メニュー	戻る	中止
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">リムーバブルメディア(27)</div> 〜K		
<u>内蔵メモリ(26)</u>		

(b)

メディア選択メニュー	戻る	中止
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">リムーバブルメディア(27)</div> 〜K		
<u>内蔵メモリ(26)</u>		
<u>リムーバブルメディア(37)</u>		
<u>内蔵メモリ(32)</u>		

【図5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 この発明は、再生機能を有するＡＶ機器と記録機能を有するＡＶ機器とを接続することにより、単体では実現することができない種々の機能の実現を図り得る再生装置及び再生方法、記録装置及び記録方法、ＡＶシステムを提供することを目的としている。

【解決手段】 再生機能を有する携帯型ＡＶ機器１１と記録機能を有する据置型ＡＶ機器１２とを相互に制御可能に接続し、携帯型ＡＶ機器１１から据置型ＡＶ機器１２の有するリムーバブルメディア３７及び内蔵メモリ３２のいずれかを選択可能とし、選択したリムーバブルメディア３７または内蔵メモリ３２からＡＶ情報を読み出し携帯型ＡＶ機器１１に転送して表示部１４に表示させる。

【選択図】 図２

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000003078]

1. 変更年月日 2001年 7月 2日
[変更理由] 住所変更
住 所 東京都港区芝浦一丁目1番1号
氏 名 株式会社東芝
2. 変更年月日 2003年 5月 9日
[変更理由] 名称変更
住 所 東京都港区芝浦一丁目1番1号
氏 名 株式会社東芝